



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

# Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30  
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583  
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)  
 ■会長：矢追家麻呂 ■副会長：藤井正勝 幹事：石野捨雄



## 会長報告

- 先週の例会終了後、臨時理事会を開催致しました。審議事項は、東日本大震災の被災者の義援金の件と、春の家族例会の件の2つです。
  - ・義援金につきましては、先週の例会中にお問い合わせをしましたが、1人1人ではなかなか集まり難いだろうということで、クラブでまとめて行うことにしました。金額は前年度繰越金の中から100万円を地区に送金いたします。
  - ・家族例会について、今こういう時期ですので自粛もしなければならないと思いますが、やはり年頭に計画を立てておりますし、乾杯等はしないということで、御家族と春の一日を楽しんで頂けたらと思いますので、予定通り4月10日に家族例会を行うことにしました。
- 東日本大震災義援金について、地区から再度お願いがありました。目安として1人当たり5,000円以上、出来るだけ多くして頂けると有難いということです。先週、3週にわたって、募金箱を回させて頂くようお願いしましたが、先ほど申しました通り「クラブとしてした方が良いのではないか」という意見が理事会で多数ありましたので、100万円送金いたします。
- 福島の第2530地区大橋廣治ガバナーから、第2650地区の栗田ガバナー宛に支援依頼がありました。インスタント食品類・生活用品（洗面用品・生理用品・紙オムツ・サランラップ・ポリ袋・粉ミルク）ヘルメット・マスク・軍手・乾電池等の物資が不足しているので、送って欲しいとの要請です。これは地区でとりまとめるのではなく、クラブでとりまとめ、クラブから日本赤十字福島県支部に送ります。これらの物資についてはクラブに持って来て頂きますようお願いいたします。（詳細はRI第2530地区HP：<http://www.ri2530d.jp/>）

発行日/2011年3月29日  
2010-2011/34

**Vol.32**  
No. 1546

HP：<http://naraomiya-rc.jp>  
E-mail：[info@naraomiya-rc.jp](mailto:info@naraomiya-rc.jp)

2010～11年度  
第2650地区のテーマ

『ロータリーを良く学び、  
変化を知り、  
忘れたことを思い出そう』

国際ロータリー第2650地区  
ガバナー 栗田 幸雄



### 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

## 例会プログラム

第34回 3月29日  
通算1546回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング  
「4つのテスト」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話  
飛鳥建設株式会社  
代表取締役 左野 勝司 氏  
「石工半世紀」
6. 閉会の点鐘 18時30分

### 例会状況報告

第33回 3月22日  
通算1545回

R.C.は出席から 1545回  
 ● 会員数 68名  
 ● 出席免除者数 24名  
 ● 出席者数 45名  
 ● 補填者数 -  
 ● 出席率 79.0%

### 1543回の修正

● 会員数 68名  
 ● 出席免除者数 24名  
 ● 出席者数 53名  
 ● 補填者数 5名  
 ● 出席率 94.6%

- 地区大会については4月16日・17日共に予定通り開催します、という連絡がありました。
- 「福井の春祭り」のパンフレットを配布しました。地区大会の開催される4月17日が最終日ですので、ご興味のある方はご参加下さい。
- 第3回日台ロータリー親善会議開催の案内を配布いたしました。参加については、強制ではありませんが、登録料15,000円は自己負担となります。地区大会と同じような考え方でご参加頂ければ有難いです。後程出欠を確認いたします。
- Eクラブについての案内です。Eクラブとは体の不自由な人や、時間に余裕のない方など、例会に行きたいけれど、物理的にはなかなか出席が難しい方が入会する、ホームページ上で例会を開催する新しい形のロータリークラブです。奈良県に於いては大和高田ロータリークラブ杉田博直前会長が窓口となり、「関西北陸Eクラブ（仮称）」が創立されることになりました。  
(詳細はRI第2650地区HP：<http://www.rid2650.gr.jp/>「お知らせ」欄または  
関西北陸EクラブHP：<http://www6.ocn.ne.jp/~ytrotary/eclub/index.html>)
- 奈良東ロータリークラブよりIMの決算報告書が届きました。事務局に置いてありますので必要な方は閲覧下さい。

---

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会・橋本委員長

- 東大寺福祉療育園の雨除け庇設営について、3月11日に文化庁で認可が下り、工事が着工されることとなりました。4/末に完成予定です。近々協力金を持って行く予定です。
- 5月15日の佐保川清掃の件ですが、先日回覧しましたご案内の集合場所が佐保川小学校となっていました。正しくは、佐保小学校ですので、訂正いたします。もう一度回覧を回しますので、前回欠席された方・未定の方、宜しくお願い致します。

### 親睦活動委員会・中奥委員

- 3月29日にご入会される門脇伸幸さんの歓迎会を行います。新大宮・芝にて、19時からですので、ご参加お願いします。尚、会費は3,000円です。
- 明日、鷗尾の会のゴルフがあすかC.C.でございますので、ご登録された方はよろしくお願い致します。

### プログラム委員会・高野委員長

来週の卓話の演題は「石工半世紀」で飛鳥建設(株)代表取締役の左野勝司先生にお越し頂きます。左野先生は、「世界に通用する奈良県の職人さん」です。高松塚古墳の発掘の際、石室の解体を手始めに始められ、現在もカンボジアのアンコールワットやシルクロード等から「是非協力して欲しい」と要請が来ていると伺いました。解体発掘の詳しい話をお伺いできるかと思っておりますので、是非ご出席ください。

### 幹事報告

4月17日の地区大会のご案内とともに、地区から届いた名札も合わせてお配りいたしました。ずいぶん早く届きましたが、当日名札を忘れずに、必ず持参して頂きます様をお願いいたします。現在のところバスで行かれる方が27名、電車や車で行かれる方が4名、計31名ですが、バスで行かれる方のタイムスケジュールを、出席委員会と親睦活動委員会で検討しています。4月の第一例会にはご連絡できる予定です。

私は現在資産運用会社に勤務しておりますが、本日は個人としての立場から、資産運用について、幾つかの観点からお話をさせて頂き度いと思います。まずは今回このような機会を頂戴したことに対し、御礼申し上げ度いと思います。

まず、資産運用会社とはどのような仕事をしているか、というお話から始めたいと思います。ひとことと言えば、個人投資家や機関投資家の方々のお金を運用し、運用成果をあげることを目指す、ということになります。実際に株式や債券の銘柄を選択したり、投資判断をしたりする運用部門のほか、お客様の窓口となる営業部門、リスク管理部門、事務部門、法務・コンプライアンス部門などから構成される組織構成は各社おおむね同じだと思います。これらの各部門が協働しながら、市場環境やお客様の運用ニーズなどを勘案し、新たな商品（投資信託）を開発・運用したり、既に運用中の商品に関する情報提供や営業支援を行ったりするわけです。銀行や証券会社が主催する投資セミナーに運用会社から講師が来ているのも営業支援活動のひとつです。因みに、この銀行や証券会社などは、個人投資家向けの公募投資信託という商品においては、販売会社という位置づけとなり、商品の開発・運用を担当する運用会社との間での製販の役割分担が出来ています。

さて、さきほど運用成果という言葉を使いましたが、この運用成果というのが、特に個人投資家のみなさまにとってわかりにくい考え方です。例えば、日本株を投資対象とする投資信託が年率8%の運用だった場合、「この投資信託は良い投資信託である」と言えるでしょうか？『実は、この情報だけでは判断できない』、というのが正解です。というのは、他の投資信託の運用実績や日経225やTOPIXなどの代表的な株式指数の運用実績が、例えば、12%であった場合には、当該投資信託の運用実績は相対的に劣っているということになるからです。

また、運用成果については、同じ種類の投資対象で比較することが、その優劣を考えるための条件となります。たとえば、野球における1点とラグビーにおける1点の意味、重みは異なります。これと同じように、同じ年率5%の運用実績であっても、株式投資信託と債券投資信託における意味は異なります。これを少し違う言い方をすれば、投資対象の資産の値動きの大きさ、これをリスクと言いますが、リスク対比での運用実績比較がより重要です。例えば、年率10%の運用実績を得ることができた場合でも、それと同時にどの程度の大きさのリスクを背負っていたか、という考え方が重要です。

次に、資産運用が本当に必要かどうか、というそもそもの根源的なテーマについて考えてみたいと思います。お金が増える、ということ自体は、その方法に問題がない限り、肯定的に捉えてよいと思います。お金は飽くまでも手段であるので、増えたお金で生活水準を上げたり、親孝行をしたり、贅沢をしたり、寄付をしたり、いろいろな有効な用途があります。ただ、多くの人々にとっては、もう少

し生活防衛的で切迫感のある関心も徐々に広がってきたのではないかと思います。例えば、公的年金財政への懸念に基づいた私的な資産形成の必要性の認識、永続的な傾向かどうかの即断は難しいのですが食料品などの資源価格高騰を背景とする海外発のインフレ懸念など、個人でも何らかの資産運用をしなければならないのではないか、という問題意識です。ただ、仕事や家庭に多忙な方々が、金融市場動向や個別銘柄の値動きを注視し続けるのは容易ではないと思われます。このような潜在的な資産運用ニーズにお応えしたいというのが運用会社の役割であり、大袈裟に言えば、社会的な意義であると考えています。

現在、投資信託商品は、1) リスクの大小、2) 先進国から新興国まで広がった投資対象地域、3) 投資対象通貨など、大きな広がりを見せています。それだけに、個々の投資家が何を目的とした投資を行うのかによって、選択する商品や投資期間などは異なります。現下の先行きの見通しが不透明な金融市場動向を勘案すると、特定の国、通貨、資産に賭けるのではなく、一見教科書的で面白くないように思われるかもしれませんが、投資対象をある程度分散するという、オーソドックスな考え方が重要であると考えます。また、不測の相場下落の事態が起きることも想定し、手持ちの資金のどの程度の比率をリスクのある投資に回すかという判断も同様に重要です。



本日計 18,000円 累計 1,869,000円

- 矢追家麻呂君** 今も尚、余震や停電等障害著しい東京から奈良大宮RC例会の卓話に駆けつけていただきました、日高先生に心からお礼申し上げます。
- 橋本和典 君** 3月8日2人目の孫娘が生まれました。3月18日次男が医師国家試験に合格しました。少しはお国のお役にたちますかね。頑張れ日本！！
- 大塩栄作 君** 橋本先生、先日の窯たきの折には陣中見舞をありがとうございました。増井さん貝殻ありがとうございました。窯出しが楽しみです。ニコニコに協力！！
- 佐川 肇 君** 連続欠席のおわびと、16日から仙台に住む息子一家が奈良へ避難して来ています。震災から1週間近く電気ガス水道が止まり、ガソリンもなく必死に帰って来ました。
- 武藤廣茂 君** 今週の始め グループ内の年長児が元気に卒園して行きました。時節柄、人に優しく出来る人になる様親と子に伝えました。
- 今嶋和民 君** ニコニコに協力。

本日のお客様  
(3月22日)

吉本 義俊 様 (京都山城RC)

次週の例会  
4月5日 (火)

卓話 麴谷 静 会員  
「写真の話とロータリー雑学」